

SX-Aurora TSUBASA ソフトウェア (2020 年 5 月リリース)  
リリースノート

日本電気株式会社

平素は SX-Aurora TSUBASA をご利用いただき誠にありがとうございます。2020 年 5 月リリースの SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアについて、前バージョン(2020 年 1 月リリース)からの強化内容につきまして以下に記載いたします。

## 1. 概要

2020 年 1 月リリースに対し、RHEL/CentOS 8.1 対応を実施しました。

## 2. 動作環境

SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアは、以下の Linux ディストリビューションのバージョンおよびカーネルバージョンにおいて動作を検証しております。掲載以外のバージョンでは、動作を保証できなくなる場合がありますのでご注意ください。

OS バージョン	カーネルバージョン
RHEL 8.1	4.18.0-147.8.1.el8_1.x86_64
CentOS 8.1	
RHEL 7.7	3.10.0-1062.4.1.el7.x86_64 3.10.0-1062.12.1.el7.x86_64 3.10.0-1062.18.1.el7.x86_64
CentOS 7.7	
RHEL 7.6	3.10.0-957.21.3.el7.x86_64 3.10.0-957.27.2.el7.x86_64
CentOS 7.6	

ベクトルホスト(VH)ターゲットモデル：

	エッジ モデル	オンサイト モデル				データ センター モデル
モデル名称	A100-1 A101-1 A111-1	A300-2	A300-4 A311-4	A300-8 A311-8	A412-8	A500-64 A511-64
最大搭載ベクトルエンジン(VE)数	1	2	4	8	8	64

### 3. 本リリースでの主な強化・変更点

本リリースでは、下記の項目を強化しました。

製品名	カテゴリ	強化内容
VEOS	OS	VHcall Fortran API VE0 の ftrace 対応
NEC MPI	MPI	モデル A412-8 向け通信最適化 InfiniBand Adaptive Routing サポート
NEC MPI/ Scalar-Vector Hybrid	MPI	InfiniBand Adaptive Routing サポート InfiniBand がない環境での VH 内 VE-VH ハイブリッド実行サポート

VEOS の変更内容については、下記も併せてご確認ください。

VEOS ドキュメント”WHAT’S NEW”

<https://veos-sxarr-nec.github.io/doc/Japanese/WHATSNEW.txt>

### 4. 注意・制限事項

NQSV の以下の機能は RHEL/CentOS 8.1 に対応していません。2020 年 7 月末に対応予定です。

Docker、Intel MPI 連携、OpenMPI 連携

ScaTeFS は RHEL/CentOS 8.1 に対応していません。2020 年 7 月末に対応予定です。

以上